



東区役所のホームページでは、産業のまち東区ならではの風景が見られる「東区産業風景スポットマップ」を公開しています。また、東区スペシャルサイト「ゲンキ魂<sup>たま</sup>」では、東区の産業を紹介しています。ぜひご覧ください。

詳しくは

Industrial tourism  
新潟市東区産業観光ガイドブック

# 工場に行こう。

# 産業のまち東区の工場夜景



古くから「産業のまち」として栄えてきた新潟市東区。  
 大小さまざまな工場が放つ明かりは夜になると美しい夜景を描き出します。  
 産業観光がにわかに注目を集める昨今、  
 工場の魅力は非日常的な夜景だけにとどまらず、  
 ささまざまなモノが生み出される現場も魅力の一つです。  
 私たちの生活をモノで支える「工場」の魅力に触れてみませんか！

## 旭カーボン株式会社

ASAHICARBON CO., LTD.

MAP B-3

ものづくり産業を素材で支えるカーボンブラックメーカーです。「カーボンブラック」とは煤状の化学品で、タイヤなどのゴム製品のほか、自動車用部品、乾電池、印刷用インク、家電製品、靴など、日常生活に欠かせない様々な製品に使われています。特に自動車用タイヤでは、重量の約4分の1にカーボンブラックが使われ、縁の下の力持ちとして自動車産業の発展を支えています。

また、環境に配慮したクリーンな工場づくりを目指し、工場見学を含む環境学習などを通じて、近隣地域への貢献に積極的に取り組んでいます。

通船川沿いに立つ工場は、24時間365日点検を欠かさず、夜間に点検作業をする従業員の安全確保のためライトを点灯していることから、工場夜景の名所として知られるようになりました。通船川対岸の遊歩道からは、川面を照らす明かりと、迫力ある工場夜景の美しい景色を見ることができます。

DATA. 所 東区鷗島町2 電 025-274-1211

見学スポットにある対岸の遊歩道は、昼のお散歩にもぴったり。通船川の成り立ちを紹介する看板では、川の歴史も学べます。



新潟工場で作られるカーボンブラックの種類は日本最多



## 見学が可能な施設

### 株式会社博進堂

MAP D-2

アルバム印刷、商業印刷、出版のほか、マチあるき企画、ワークショップ運営など様々な事業を展開しています。

所 東区木工新町378-2 時 平日(12月~3月を除く) 所要約1~2時間  
 電 025-274-7755 料 無料  
 対象 特になし 定員 5~20人

### 歴世礦油株式会社

MAP B-1

燃料油や潤滑油の販売、新潟西港オイルターミナルの運営、プラスチック製容器包装とペットボトルのリサイクル事業を行っています。

所 東区平和町3-1 時 平日 所要約1時間  
 電 025-272-2525 料 無料  
 対象 環境活動に興味のある方(新潟市内に限る) 定員 30人程度まで

### 山の下閘門排水機場

MAP B-3

通船川と栗ノ木川の水をポンプを使って排水し、豪雨時の水害を防ぐほか、船舶の通航に必要な信濃川との水位調節を閘門で行います。

所 東区沼垂6012-2 時 平日 所要約30分~1時間  
 電 025-273-8446 料 無料  
 対象 特になし 定員 1~20人程度

### 航空自衛隊 新潟分屯基地(新潟救難隊)

MAP C-1

県内で唯一の航空自衛隊航空機(救難機)保有部隊があり、救難のための業務と訓練に日々励んでいます。

所 東区船江町3-135 時 平日 所要約90分  
 電 025-273-9211(内線206) 料 無料 ※1か月前までに要申し込み  
 対象 国防と人命救助に興味のある方 定員 50人程度まで

### 新潟県消防防災航空隊

MAP D-1

消防防災ヘリコプター「はくちょう」を運航し、各市町村と協力して、空からの救急・救助活動、消火活動などを行っています。

所 東区松浜町 新潟空港内 時 要相談 所要約30分  
 電 025-270-0263 料 無料  
 対象 地域コミュニティ等の各種団体 定員 40人程度まで

### 北陸重機工業株式会社

MAP B-3

ディーゼル機関車をはじめとする様々な鉄道車両や、製鉄所などで活躍する特殊車両、設備機械の設計・製作・販売を行っています。

所 東区山木戸7-3-69 時 所要約30分~1時間  
 電 025-274-3311 料 無料  
 対象 要相談 定員 要相談

見学を希望する際は、必ず事前連絡をしてください。写真撮影目的の見学や人数によっては見学できないこともあります。予めご了承ください。

元気な企業の  
 情報をもっと詳しく!  
 にいがた東区「ゲンキ魂」





## 東北電力株式会社 新潟火力発電所

TOHOKU-ELECTRIC POWER CO.,INC.

MAP B-2

日本最大の電力源である火力発電は、東日本大震災以降さらに需要が高まり、平成29年(2017)には電力供給量全体の84.6%を占めるまでになりました。

東北電力(株)は、県内で新潟火力発電所(新潟市東区)と東新潟火力発電所(聖籠町)の2つの火力発電所を管轄しています。東区にある新潟火力発電所は、火力発電の原料として海外産の液化天然ガス(LNG)と新潟県産の天然ガスを混ぜて使用しているのが特徴で、エネルギーの地産

地消に貢献しています。

東京ドームの約5倍の広さがある敷地は住宅地に近く、敷地内にある緑地を有効活用した桜花見開放や自然観察会、ふれあい農園(さつまいも収穫)などが毎年大好評。発電設備を短時間で見学することもできます。

DATA.	所 東区桃山町2-200	対象 小学4年生以上
見学は	電 025-273-6211	料金 無料
要事前申し込み	時 平日 所要～約2時間	定員 20人程度まで(それ以上は別途相談)



## 北越コーポレーション株式会社 新潟工場

HOKUETSU CORPORATION

MAP B-3

日本有数の規模を誇る紙・パルプ生産工場が北越コーポレーション(株)新潟工場です。敷地面積は61万7,000㎡、東京ドームおよそ13個分の広大な敷地に、世界最大級の抄紙機を含め8台の抄紙機やパルプ製造設備、ボイラーなどの発電設備を有し、印刷情報紙を中心に日産3,500トン、年間100万トン以上の紙を生産しています。紙づくりで100年以上続く当工場は、高い技術力を備えており、国内市場はもちろんのこと、新潟東港を利用し海外への紙製品の輸出の拡大を図るなど、国際競争力を有しています。

また、環境への影響を最小限にする「ミニマム・インパクト」を基本方針とする環境対策は環境経営度調査でも高い評価を得ており、環境分野に

おいでもリーディングカンパニーです。

当工場は、「地域との共生」を工場方針に掲げ、さまざまな活動を行っています。毎年2,000名以上が訪れる工場見学、近隣の小学生を対象とした工場写生コンクールや工場盆踊り大会、工場周辺の清掃活動など、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

DATA.	所 東区榎町57	対象 町内会、地域コミュニティ等の各種団体・グループ、学校、自治体、企業など
見学は	電 025-273-1141	
要事前申し込み	時 平日 所要約1～2時間	定員 10人以上(要相談)

※工場の定期点検期間は見学ができません。詳しくはお問い合わせください。



## 新潟原動機株式会社

NIIGATA POWER SYSTEMS CO.,LTD.

MAP D-4

大正8年(1919)に、前身である株式会社新潟鐵工所が国産初の船舶用ディーゼルエンジンを開発。現在はディーゼルエンジンのほか、中・大型エンジンから発電プラントまで幅広く手がけ、製品の多くが国内外でトップクラスのシェアを占めるなど、創業から120年以上にわたり、常に業界の最先端を走り続けています。

用途に合わせて最適な調整を行い、1台1台オーダーメイドでつくられる製品は、品質や耐久性、納品後のサポートやメンテナンスに定評があり、

お客様から「やっとあこがれのエンジンが買えた!」と喜ばれることも。

工場見学では、<sup>エンジン</sup> 鑄造工場や内燃機工場の製造工程を見ることができ

DATA.	所 東区岡山1300	対象 中学生以上
見学は	電 025-274-5115(総務チーム)	料金 無料
要事前申し込み	時 平日 所要約2時間	定員 50人程度まで

※2019年7月1日から「株式会社IH1原動機」に社名変更。

# 東区 フォト ギャラリー

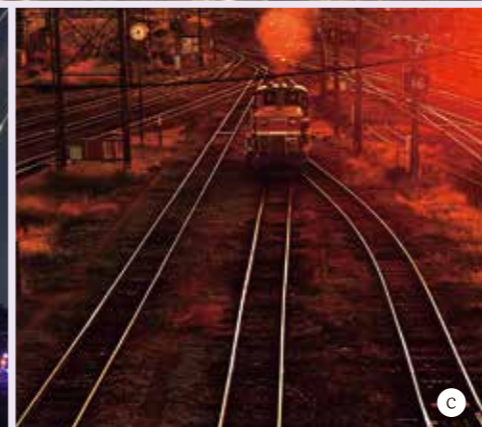
#東区工場夜景  
#東区産業観光  
#東区フォトスポット

Shutter chance!



東区には「産業のまち」ならではの  
撮影スポットがいっぱい!  
迫力ある工場夜景や新潟空港のキラキラ夜景、  
港を出入りする大型船、木材を曳き川を進む船、  
少し離れた高層ビルから見える街並みなど、  
お気に入りのロケーションを探しに出かけよう!

※工場敷地内や私有地には無断で入らないよう  
ご注意ください。



撮影場所を P10 のマップで  
確認できます。



## a. メディアシップから

中央区の新潟日報メディアシップ20階にある「そらの広場」からは、新潟市の市街地を360度見渡せます。東区方面には、大きな煙突や、夜も眠らず明かりの灯る工場を眺めることができます。

MAP A-4

## b. 新潟空港

国内線や国際線の飛行機が2,500mの滑走路を離発着する様子を、空港4階の見学・送迎デッキから見るすることができます。夜になると滑走路には宝石を散りばめたようなライトが灯ります。

MAP D-1

## c. 新潟貨物ターミナル駅

JR東新潟駅の近くにある貨物ターミナル駅は、日本海側最大の鉄道貨物の物流拠点です。中島跨線橋の上から見下ろすJR東日本の白新線と合わせて30本の鉄路が作り出す景色は壮観です。

MAP D-4

## d. 通船川鷗橋付近の産業風景

旭カーボン(株)のすぐ脇を流れる通船川では、輸入木材を港から貯木場へ運ぶ様子と工場の風景が同時に見られます。このような風景が見られるのも「産業のまち東区」の魅力です。

MAP B-3

## e. 新潟西港

山の下みなどタワーなどから、大型フェリーや貨物船が港を行き交う様子を観ることができます。大型クルーズ船が寄港する時は、テーブルシャワーでお見送りをされる様子なども見られます。

MAP A-2

## f. 旧7号沿いの工場夜景

旧国道7号(県道3号)沿いに並び立つ、北越コーポレーション(株)新潟工場の5本の大きな煙突は、遠くからも見える東区のランドマーク。風にたなびく水蒸気が、産業のまちの活気を伝えます。

MAP B-3

## g. 石油タンク群

新潟みなとトンネルの東区側出入口付近には、輸入した石油を備蓄するための巨大なタンクが数多く見られます。周辺には発電所もあり、エネルギー基地としての東区を実感できるエリアです。

MAP B-2

# 工場から足を伸ばして 訪ねてみよう！

東区には、産業の風景だけでなく、多くの自然や歴史、地域の人々から親しまれている魅力的なスポットがたくさんあります。お友だちやご家族と一緒に、いままで知らなかった東区の魅力を見つけに出かけてみませんか？  
きっと新しい発見が待っています。

## 観光スポット 〈公園・市場・港〉



**じゅんさい池公園**

MAP C-2

2つの砂丘湖(東池と西池)の周囲を赤松の林が囲む自然豊かな公園。東池にはスイレンやヒシ、西池にはジュンサイなどの水生植物が繁茂し、遊歩道では散歩を楽しめます。毎年4月に行われる観桜会では、京都円山公園の桜の血筋を引く名木しだれ桜が「かがり火」でライトアップされ、初夏にはホテルが飛び交います。  
[所] 東区松園2-2-1 [P] 30台



**山の下市場**

MAP B-2

商店街と露店がひとつになった市場。安くて新鮮な野菜などの食料品から生活雑貨まで、お店の人と会話しながら楽しく買い物できます。  
[所] 東区山の下町



**山の下船江町浜海水浴場**

MAP C-1

消波ブロックに囲まれており、家族で楽しめる海水浴場。新潟西港と新潟空港が近く、行き交うフェリーや発着する飛行機などを眺めることができます。  
[所] 東区船江町1-52-1 [P] 130台



**山の下みなとランド**

MAP B-2

港町にいがたをイメージした船形の遊具など、約70種類もの遊具があり、小さな子どもから大人まで楽しく遊べます。 ※12月～3月は休園  
[所] 東区臨海町地内(山の下みなとタワー側) [P] 60台(土日祝は臨時駐車場あり)



**新潟西港**

MAP A-2

日米修好通商条約による開港五港の一つで、平成31年(2019)1月1日に開港150周年を迎えました。カーフェリーや貨物船、クルーズ船などが寄港します。  
[所] 東区山の下埠頭(写真)



**大山台公園**

MAP B-2

園内に設けられたユニークな展望台からは、船が行き交う新潟西港の様子や新潟市街を一望でき、晴れた日は佐渡、弥彦、飯豊連峰などを見渡せます。  
[所] 東区大山2-13-2 [P] なし



**寺山公園**

MAP C-4

東総合スポーツセンター隣にある、健康づくりや子育て支援機能を備えた公園です。天候を気にせず利用できる子育て交流施設「い〜てらす」もあります。  
[所] 東区寺山1653 [P] 108台

## 史跡 〈神社仏閣・石碑〉



**山の下神明宮**

MAP B-2

学業、商売の神々を祀る神社。春・秋の祭りに欠かせない民謡「山の下木遣り」は、かつては労働歌、祝い歌として親しまれ、親から子へと歌い継がれました。  
[所] 東区臨港1-8-48



**延命寺**

MAP A-2

中国・西安市の興教寺の整備に協力した縁から、姉妹寺院となり交流を持つ延命寺。平成22年(2010)には、玄奘三蔵法師の金銅坐像が贈られました。  
[所] 東区神明町12-6



**大形神社**

MAP C-2

延喜式に記載されている古社で、創建は大同年間(806～810年)と伝えられています。秋の祭礼では「太々神楽」が奉納されます。  
[所] 東区河波本町19-25



**薬師庵**

MAP D-2

東区で唯一の県指定文化財である薬師如来坐像のほか、朱塗りの仁王門や古い石塔などが点在する霊場。「松崎のお薬師様」として親しまれています。  
[所] 東区松崎1-14-27



**藤戸神社**

MAP D-2

鎌倉時代に源頼朝の命により佐々木盛綱が築いたといわれる神社。源義経一行にまつわる伝説では、弁慶に切られた娘の霊を祀ったといわれています。  
[所] 東区松崎1-14



**津島屋諏訪神社**

MAP E-2

境内に十数本立ち並ぶ大ケヤキは、樹齢450年。江戸時代から神社を守ってきたといわれ、新潟市の保存樹林に指定されています。  
[所] 東区津島屋1-99



**牡丹山諏訪神社**

MAP C-3

平成25年(2013)に境内で円筒埴輪片が発見され、翌年の発掘調査により、5世紀前半の直径約30mの造り出し付き円墳があったことが判明して注目を集めました。  
[所] 東区牡丹山3-14-38



**寺山不動尊 火産霊神社**

MAP D-3

400年以上前に授かった不動明王を「寺山不動尊」として奉祀。昭和24年(1949)の「寺山不動尊 火産霊神社」建立、平成9年(1997)の再建を経て現在の姿となっています。  
[所] 東区寺山3-28-10



**平出修 生誕の地碑**

MAP D-4

平出修は新潟を代表する作家の一人。弁護士として明治43年(1910)の大逆事件に携わり、弁護士業の傍ら小説家、歌人、評論家としても名を成しました。  
[所] 東区猿ヶ馬場2-10-10



**石山諏訪神社**

MAP C-5

石山新田開発時に開拓の神である「建御名方命」を祀って文禄年間(1592～96年)に創建。門前には新潟市で最も古い狛犬が鎮座しています。  
[所] 東区石山2-1-2



**招魂所山 六體地藏尊**

MAP C-5

江戸時代、新田開発に携わった酒井吉右衛門が、旅の行脚僧を看護。そのお礼に教わった薬の販売で家が栄えたことから、報恩のために建立しました。  
[所] 東区石山5-10-9

# 歴史メモ

## 湊足柵

湊足柵は、大和朝廷の北方の防衛施設であり、都から遠く離れた地方を治めるための行政施設でもあったと考えられています。日本書紀には「大化3年(647)湊足柵を造りて柵戸(きのへ)を置く」と記されていますが、その存在位置は不明のままで、日本史上の大きな謎とされてきました。湊足柵の研究を続けてきた新潟大学の小林昌二名誉教授によると、東区の山の下地区・王瀬地区または河渡地区が最有力とされています。

## 北国街道

江戸時代に、信濃方面から高田、出雲崎を経て念珠関(山形県鶴岡市鼠ヶ関)まで通じる街道として整備された脇街道。東区では河渡から松崎地区に通り、平安時代後期の薬師如来坐像を納める薬師庵のほか、奥州に落ち延びる源義経と弁慶が通ったという伝説のある藤戸神社や、庶民の雨乞いの祈りの場となった河渡の大仏などを訪ねることができます。

## 藤戸神社と義経伝説

薬師庵に隣接する藤戸神社には、源義経一行にまつわる伝説があります。義経一行は、松崎の辺りで村の娘に道をたずねます。娘は彼らが鎌倉からお触れが回っている義経一行であると気づき、そのことをうっかりもらしてしまいます。それを聞いた弁慶は「素性を知られた以上は致し方ない」とその娘を切り捨ててしまいました。弁慶に切られた娘を哀れに思った村人たちが、その霊を祀ったのが藤戸神社であるといわれています。

## 工場地帯

明治28年(1895)、日本石油(株)が山の下地区に(株)新潟鐵工所の工場をつくり、石油採掘用の機械や工作機械、車両製造などを始めました。その後、大正期にかけて中小の工場が建つようになり、多くの労働者を抱える工業のまちとして発展しました。昭和4年(1929)には、新潟市の都市計画で山の下が工場地帯に指定され、工場建設が一段と進みました。

## 赤道

国道113号の平和町交差点から新潟バイパス竹尾インターまでの県道新潟港横越線は、新潟市民から通称「赤道」と呼ばれています。呼び名の由来は、かつてこの道路に近隣の化学工場から出た酸化第二鉄を含む赤茶色の土が敷かれ、赤い色をしていたためです。県道新潟・新発田・村上線(旧国道7号)と交わる交差点には、現在も「赤道十字路」という標識が掲げられています。

## 通船川と貯木場

東区を東西に横断する通船川は、江戸時代中頃まで阿賀野川の河道でした。当時の阿賀野川は信濃川に合流していましたが、享保16年(1731)の雪解け水による増水で放水路が決壊して、海に直接流れ出るようになりました。その後、信濃川～阿賀野川間の河川航路を維持するために開削してつくられた運河が現在の通船川です。通船川に2か所ある貯木場は、古くから木材の集積地であり、今でも輸入木材が港からいかだで運搬されています。英国人旅行作家イザベラ・バードの著書では、明治11年(1878)、新潟に滞在した後に、通船川(当時は新川)を船で北へ向かった様子が記されています。



### 東区データ (平成31年3月時点)

面積	38.62km <sup>2</sup>
人口	137,577 (男 66,001、女 71,576)
世帯数	55,550
【農業】	
農家戸数	327
経営耕地面積	67,062a
【工業】	
事業所数	207
製造品出荷額等	33,247,712万円
【商業】	
事業所数	1,116
年間商品販売額	40,637,993万円

出典：平成27年国勢調査、平成27年農林業センサス、平成26年工業統計調査、平成26年商業統計調査

